

題：新聞で育つ愛“地元”に

名前：

私は新聞や雑誌はこれからも必要だと思いま
す。大学に入、て一人暮らしを始めた学生の
ほとんどは新聞の定期購読をしていません。
私もその一人です。今や学生が一人一台パソ
コンを持、ている時代なので、そういう人に
と、てインターネットでニュースを見ること
ができるのは非常に便利です。私もたまに見
ますが、インターネットという値段の安い手
段で、各^{新聞}社の記事を比較・検討して読むこと
ができるのは有益だと感じます。しかし、そ
のニュースは各新聞社の記事から、世間の人
々が関心を持、つであろう内容を抜粋した情報
の少ないものです。例えば政治・スポーツ・
芸能が主にインターネットで話題のニュース
とな、ていて、私達は興味のあるものだけを
閲覧します。

一方で新聞にはどのようなことが書かれてい
るでしょうか。インターネットと同様に政治、
スポーツ・芸能のことはもちろん書かれてい
ます。しかしながら新聞の中盤のページには、

読者が生活する地域に密接した内容が多く書
かれています。地域の催し物、環境問題、廃
校寸前の中学校、住民応募の俳句、将来の夢
…。身近な事が新聞に載、っていると、^{自分}目をと
めてしまうもので、その地域に愛着を持、つよ
うになります。

また、朝日新聞や毎日新聞などの全国紙でも、
紙面の隅に小さく地元のニュースが載、ってい
ると、懐しくまたどこか嬉しく感じます。
インターネット上でのニュースは、全国共通
のニュースしか出なく、またわざわざ地元の
細かいニュースを探す人は多くはないでし、
う。

このように、私は新聞は自分と自分の住む地
域をつなげてくれる媒体だと思います。グロー
ーバル化が唱えられた後、グローバルという
単語も出現するようになった時代です。グロー
ーカルを体現するためにも、新聞、とくに地方
新聞は今後も重要な役割を果たしていくでし、
う。